

若い衆には負けません



三好市高齢者体育大会が11月6日、池田総合体育館で開催されました。この運動会は、三好市老人クラブ連合会主催によるもので、今回が3回目となります。

8チームの約500人は、ボールを渡していくボール送りや、魚のぬいぐるみを吊る魚つりレースなど11種目を楽しみ、三好チームが優勝しました。怪我もなく、気持ち良い汗を流し、「来年も参加するのが楽しみ」という参加者の元気な声を残して終了しました。

厳かに井内三社宮大祭



晴天に恵まれた11月3日、井内三社宮大祭が馬岡新田神社（井川町井内）にて約400人の氏子らで厳かに開催されました。

この祭りは歴史も非常に古く、行事は頭屋組が中心となり行なわれています。神事に始まり、神社前を出発し往復400メートルを約2時間かけ、先頭人、だんじり、長刀、猿田彦、鳥毛、弓、神輿らで旅を行いました。神事場での、氏みせは本年生まれた乳児を氏子として氏神様にご覧いただき、健康と多幸をお祈りしました。

文化の秋を満喫



11月2日に山城公民館で第3回やましろ文化まつりが開催され、芸能発表や作品展示が行われました。

2階のホールで行われた芸能発表では、会員らによって披露された舞踊やコーラス、大正琴などが観客を魅了し、1階の展示室には和彫や盆栽などの作品が部屋一杯に展示され、来場者の目を楽しませました。

今年の文化まつりには、妖怪の着ぐるみによる劇も披露され、コミカルな動きを見せる妖怪に、場内は笑い声に包まれていました。

まちかど フォト ニュース



おもしろいこと、珍しいもの、
どんなことでもいいので耳より
な情報をお知らせください。

三好市役所 秘書広報課
☎0883-72-7646

人気の妖怪が勢揃い

紅葉があざやかな藤の里公園（山城町上名）において、11月23日に妖怪祭りが行われました。この祭りは藤川谷の会が、こなき爺の伝承を後世に残し、町おこしを行おうと毎年開催しているものです。そして、今年「怪遺産」に認定され有名になったためか、市内外から1,000人を超す来場がありました。

この日は18体の妖怪が登場した妖怪行列、妖怪バンドの演奏や手作り妖怪コンテストも行われました。そして会場周辺は日が暮れるまで賑わいました。



子育ては乳幼児期が大事



児童虐待防止推進月間中の11月13日、池田総合体育館で児童虐待防止セミナーが開催されました。徳島文理大学教授の寒川伊佐男先生を講師にむかえ、「乳幼児の発達と子育て支援」という演題で講演をしていただきました。

講演では、近年の少年による事件や家庭の養育機能の低下などの例をあげ、最近の子どもと子どもをとりまく環境が変化していることなど、乳幼児期の発達課題についてご講演いただきました。

しあわせはふたたび



昨年開催された国民文化祭の1周年を記念したコンサート「しあわせはふたたび」が11月9日に池田総合体育館で開催されました。

徳島、東京両交響楽団と、三好市民第九合唱団、市内の小・中学生らなど約300人が出演し、迫力ある演奏と合唱が会場内に響き渡りました。瀬戸内寂聴さん作詞の「しあわせは」や、千住明さん編曲の「阿波の国ラプソディー」などが演奏され、約900人の聴衆がコンサートを満喫しました。

最先端の技術がいっぱい



国内最大級の地域情報化イベント「地域ICT未来フェスタ2008inとくしま」が県内各地で開催され、サテライト会場であるヨンデンプラザ池田でも通信ゲーム大会やパソコン教室、ロボット操作体験や情報通信機器の展示などがありました。

インターネットの高速回線を利用したテレビ会議では、アメリカの姉妹都市との交流や、小学生による他の地域との会話、閉会式では飯泉知事が三好会場からメイン会場へむけて挨拶をするなどしました。

地域でつくるまほろば祭



11月2日、山城町の大和小学校において第16回まほろば祭が開催されました。このお祭りは地区の恒例行事で、地区住民と学校やPTAなどが一緒になって開催している、華やかなお祭りです。

大和小学校児童によるソーラン節や、四国大学沖繩県人会による沖繩舞踊のエイサー、山城中吹奏楽部の演奏などが披露され、とても盛り上がりました。他にも、お楽しみ抽選会やもち投げにバザーなどが行われました。

身近な川に親しむ芋炊き会



銅山川（伊予川）の秋の催しとして定着している伊予川芋だき会が、11月2日に行われました。新宮芋だき会のメンバーや地域住民など約200人が来場し、4つの大鍋に用意された芋だきに舌鼓を打ちました。芋炊きとは、皮を取った里芋を大きな釜で煮込んで食べるもので、口の中ですとろっとするやわらかい芋がとても美味しいです。

このほか会場では、ラフティング体験や、各種バザーなども行われ、賑わいをみせました。

華やかにもみじ茶会



銀座街において11月1日、もみじ茶会が開催されました。銀座地区の銀座女性会では3か月に一度、定期的にお茶会を開催しており、今回は三好市民文化祭にあわせて開催されました。

茶会では抹茶の販売のほか、地域特産品や手作りの小物の販売、写真の展示などもしていました。そして、茶席の前ではギターや、オカリナ、三味線などの演奏会も行われて花を添え、たくさんの人手で賑わいました。

ふるさと納税いただきました



11月24日、船井電機創業者の船井哲良会長から、ふるさと納税制度で700万円を三好市に寄付していただきました。船井会長は「市のために有効に使ってください」と目録を市長に手渡しし、市からも感謝状をお渡ししました。船井会長は本籍が三好市にあり、戦時中は三野町に疎開、また代用教員として青年学校では数学や理科も指導されたそうです。なお、三好市にはこれまでふるさと納税として、16件815万円が寄付されています。

紅葉を見ながらウォーキング



秋晴れに恵まれた11月23日、大歩危観光ウォーキングが行われ、たくさんの参加者が約4キロの散策コースを歩きました。このイベントは、近年の健康志向によるウォーキングブームや、紅葉時期に合わせた催しとあって、秋の恒例イベントに定着しています。参加者はそれぞれのペースでのんびり歩きながら、紅葉に染まった大歩危峡を満喫しました。ゴールの道の駅大歩危では、お楽しみ抽選会なども行われました。

板東英二さん迎え講演



第3回三好市社会福祉大会・ふれあい広場が11月23日に開催されました。式典では、地域福祉活動に貢献のあった23人と1団体に対して表彰が行われ、式典後は中学生のブラズバンド演奏、マジックショー、王地ちびっこ連の阿波踊りやダンス披露などが行われました。また、野球解説者でタレントの板東英二さんによる「これからの時代、子どもを育てるのは親とじいちゃん、ばあちゃん」と題された記念講演も行われました。

今シーズンの初滑り満喫



井川スキー場腕山が四国のトップをきって11月21日にオープンしました。オープン日はリフト代が無料で、誰よりも早く滑ろうと来場した多くのスキーヤーやスノーボーダーが、久しぶりの雪の感触を確かめていました。今年はオープン前に自然雪が積もり最高のコンディションで、青や緑の照明のなか、幻想的な雰囲気グレンデを満喫しました。身近な市内のプレイスポットにぜひ遊びに行ってみませんか。

なでしこまつりで文化も運動も



第27回なでしこまつりが11月15日と16日に、辻小学校周辺にて開催されました。まつりでは毎年恒例の各種作品の展示や発表会、サッカーやバレーなどのスポーツ大会、各種バザーや体験コーナーなど、文化的なものからスポーツ大会まで様々な行事が目白押しでした。さらに今年は、陸上自衛隊第14音楽隊演奏会や、井川町出身の南画家・仁尾小香企画展の特別企画なども行われ、一目見ようとたくさんの来場者で賑わいました。

三世代一緒に楽しさ再発見



第3回三世代交流ウォークラリーが11月15日、井川町辻地区で開催されました。秋の心地よい天候のもと約60人の参加があり、各チェックポイントではゲームや問題、観察ゾーンなどが用意され、それぞれの得点やゴールまでの目標時間との誤差で順位を競いました。高校生のボランティアスタッフや、3世代を含むチームによるウォークラリーで達成感の共有など、世代間交流をし、地域のよさや歩くことの楽しさを再発見しました。

寒い夜に温かい光のオブジェ



今年も、池田冬のオブジェが始まり、12月1日に池田へそっ子公園でオープニングセレモニーが行われました。約10万個のイルミネーションが一齐に点灯されると、素敵な冬の夜が演出され、イルミネーションを眺めながらカップルや親子連れらがゆっくりと流れる時間を楽しんでいました。イルミネーションは来年の1月10日まで点灯され、各家庭や事業所など市内のいたるところで華やかな明かりを見ることができます。

賑わったおてんのはんの市



三野町の武大神社で毎年恒例の、おてんのはんの市(みの商工祭)が11月30日に開催されました。晴天に恵まれ、色づいた大きなイチョウの下でのお祭りは心地よく、たくさんの方が来場し、大平の獅子舞が披露されたり、バザーやフリーマーケットでとても賑わいました。また奉納相撲大会では、2歳未満の赤ちゃん20人が土俵入りし、泣き叫ぶ赤ちゃんの写真を撮ろうと、たくさんカメラマンがシャッターを切っていました。

吉田勘緑さん里帰り公演



三好市出身で文楽人形遣いの吉田勘緑さんや、沖縄民謡歌手の古謝美佐子さんらによる人形浄瑠璃公演が11月29日に三好市総合体育館で行われました。昨年に続く公演で、約1,000人の観客が訪れました。阿波の十郎兵衛で有名な「傾城阿波鳴門巡礼歌の段」と、沖縄民謡に乗せて演じた「沖縄女流歌人吉屋チルー物語」が上演され、同時代にはかなく散ったふたりの娘、阿波のお鶴と琉球のチルーの物語に、涙を流す観客もたくさんいました。

祖谷と韓国の文化の競演



第8回西祖谷文化まつりが11月23日に、かずら橋イベント広場の小屋掛け舞台で行われ、八幡獅子太鼓や後山襖からくりなどの西祖谷の民俗芸能が披露されました。芸能発表には、八幡獅子太鼓保存会と文化交流を続ける韓国宮廷舞踊も出演し、チマチョゴリ等の伝統衣装に身を包んだ踊り手が優雅な舞いを見せ、かずら橋に訪れた観光客などの来場者の目を楽しませました。会場付近では、書道や生け花などの作品展示や野点も行われました。

笑いの絶えない講演会



「笑いと人生 戦国武将に学ぶ」と題された、講談師・宝井馬琴さんによる文化講演会が、11月22日に池田総合体育館で行われました。足軽から天下人となった豊臣秀吉や、水戸黄門の長寿の秘訣、武田信玄と上杉謙信の川中島の戦い、土佐藩主山内一豊と妻・千代の出世話など、歴史上の人物について語られました。「講談とは歴史上の事件や人物を面白おかしく話すもの」と語る宝井さんの講演では、会場は常に笑いが絶えませんでした。

歴史を重ねる池田文化まつり



11月22日から24日の3日間、第21回池田文化まつりが開催されました。主会場となった三好市中央公民館では芸能の部の発表があり、大正琴や三味線、舞踊などの発表がありました。またサンライズとヨンデンプラザでは生徒や各種団体の作品展示、うだつの家では茶席、マナヅル文化ホールではコーラスなど、あちらこちらで開かれました。その会場を巡るスタンプラリーも行われ、たくさんの方で賑わいました。